

ターミナルアダプタ
(TA/T)

仕様書

サクサ株式会社

1-1 はじめに

ターミナルアダプタ TA/T は、アナログ回線に接続される既存の火災通報装置を、ISDN回線 (INS ネット64) に接続するためのターミナルアダプタです。

1-2 特長

(1) 火災通報装置接続専用ポート

本装置は、既存のアナログ回線用火災通報装置を接続するための専用アナログポート (アナログポート1) を有しています。このアナログポートに火災通報装置を接続する事により、火災通報装置の119番通報特有の通報機能 (逆信応答、逆信未検出、優先発信等) がISDN回線でもできます。

(2) 一般のターミナルアダプタとしても利用可能

本装置は、火災通報装置専用ポート以外に一般のアナログ端末機器 (電話機、FAX等) を接続できるアナログポート (アナログポート2) も有しており、一般のターミナルアダプタとしても使用できます。

(3) DSU 内蔵

オプションのDSUを内蔵することにより、ISDN回線とのU点接続ができます。

(4) 使用電源及び停電時のバックアップ

本装置は、SDE-203F、204F火災通報装置の外部供給電源を利用できるため、停電時の動作が可能です。但し、アナログポート2を非使用 (省電力モード) に設定し、ランプ、ベル等の接続がないときのみ可能です。

上記条件を超える場合及びSDE-202F火災通報装置の場合は、オプションの電源ユニットと電池を内蔵することで、AC100Vからの給電で、停電保証が可能になります。

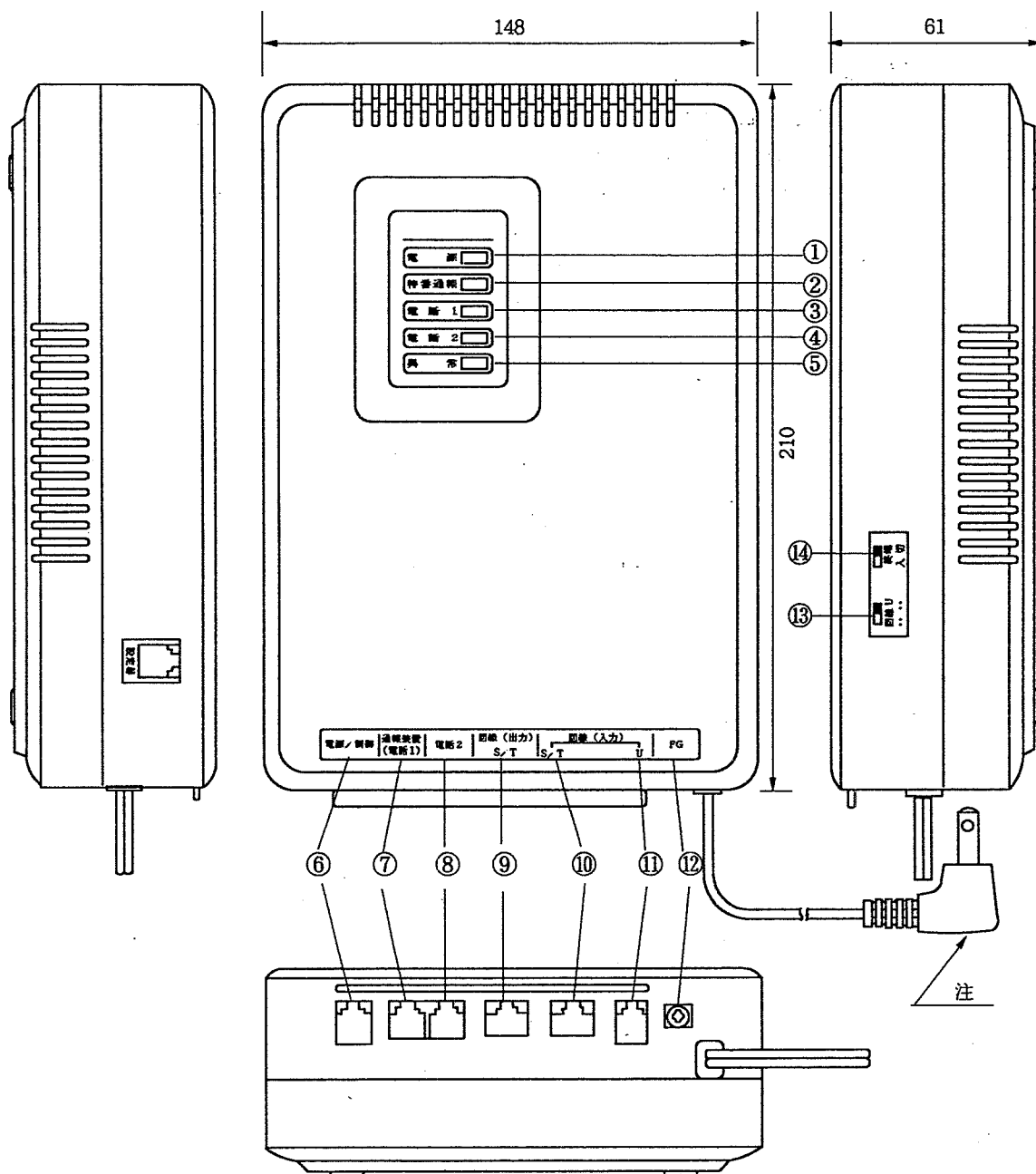
(9) 設置方法の選択

設置方法は据え置き、壁掛けのどちらでも対応可能です。

なお、壁掛けの場合には専用壁掛け金具 (オプション) が必要です。

2 各部の名称と機能

2-1 本体前面・底面



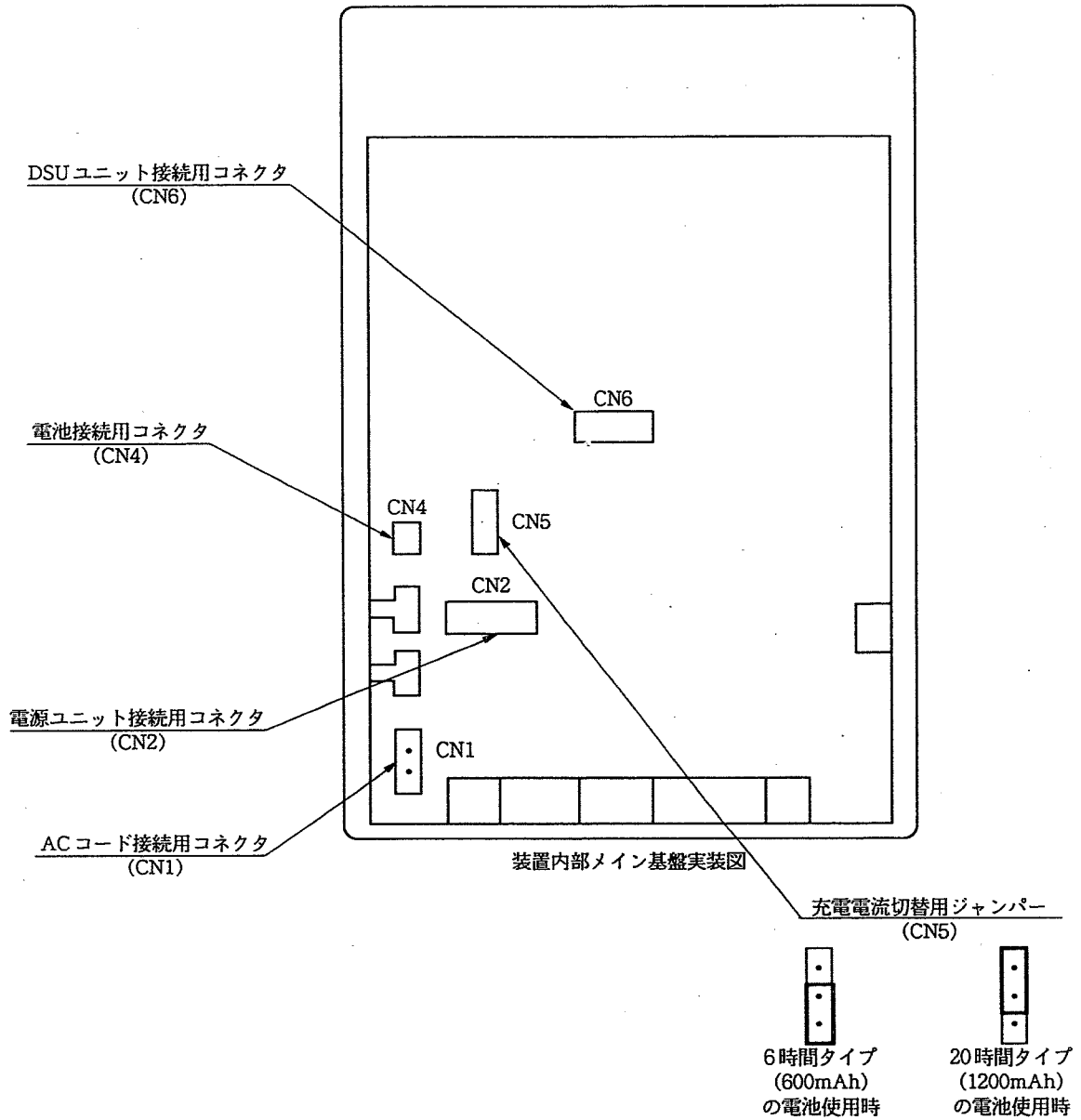
認定番号 T98 - 0068 - 0
U98 - 0045 - 0

注) 電源ユニット (PS - 1204) 使用時には図の様になります

【各部の名称と内容】

No	名 称	機 能	
①	電源	電源 ON にて点灯、電源 OFF にて消灯	
②	特番通報	火災通報装置動作中にて点滅、待機中消灯	
③	ランプ	電話1	電話機使用中点灯、着信呼出中点滅
④		電話2	電話機使用中点灯、着信呼出中点滅
⑤		異常	回線異常時点滅、内部異常（メモリ異常等）時点灯
⑥	電源／制御	火災通報装置からの DC 電源、制御信号	
⑦	通報装置（電話1）	火災通報装置、アナログ電話機接続用コネクタ	
⑧	電話2	アナログ電話機、アナログ FAX 接続用コネクタ	
⑨	配線接続部	回線（出力）S/T	一般のターミナルアダプタ、デジタル電話機等接続用コネクタ
⑩		回線（入力）S/T	本ターミナルアダプタの回線接続用コネクタ（DSUユニット未使用時）
⑪		回線（入力）U	本ターミナルアダプタの回線接続用コネクタ（DSUユニット使用時）
⑫		FG	FG 接続端子
⑬		スイッチ	回線 U
⑭	スイッチ	終端	終端抵抗の ON/OFF 設定用スイッチ

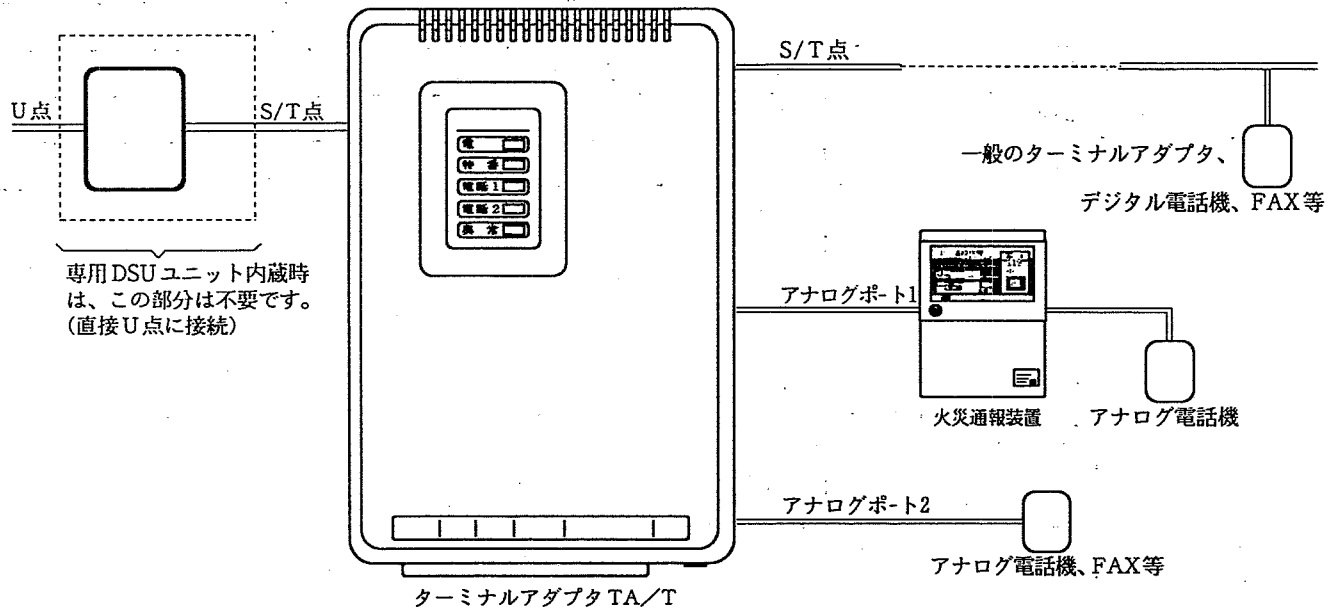
2-2 本体内部



名 称	回路記号	内 容	備 考
ACコード接続用コネクタ	CN1	ACコードを接続します。	電源ユニット使用時のみ
電源ユニット接続用コネクタ	CN2	電源ユニットを接続します。	電源ユニット使用時のみ
電池接続用コネクタ	CN4	停電バックアップ用電池（6時間タイプ又は20時間タイプ）を接続します。	電源ユニット使用時のみ
充電電流切替ジャンパー	CN5	使用する電池のタイプに応じて設定します。 600 : 600mAh (6時間タイプ) 電池使用時 1200 : 1200mAh (20時間タイプ) 電池使用時 (設定用のピンは電源ユニットに添付されています。)	電源ユニット使用時のみ
DSUユニット接続用コネクタ	CN6	DSUユニットを接続します。	DSUユニット使用時のみ

3 構成

3-1 システム図



3-2 機器構成

No	区分	機 器	型 名	備 考
1	本体	火災通報装置ターミナルアダプタ	TA/T	
2	オプション	専用DSUユニット	PA-1	本体に内蔵
		専用電源ユニット	PS-1208	本体に内蔵
		9.6V/600mAh ニッカド電池 (6時間対応)	8N-600AACL	本体に内蔵
		9.6V/1200mAh ニッカド電池 (20時間対応)	8KR-4/3AH	本体に内蔵
		壁掛け金具	WA-1	
		特番TA用ケーブルローゼット	—	制御信号接続用

3-3 本体構成

本装置は、DSUユニット、電源ユニット、電池の有無により以下の組み合わせでの使用が可能です。

No	DSUユニット	電源ユニット	電 池	運 用 形 態	
				電 話 回 線	電 源 供 給
1	無し	無し	無し	既設のDSUを利用	電源は火災通報装置より供給
2	無し	内蔵	9.6V/600mAhニッカド	既設のDSUを利用	AC100V使用 (停電時動作6時間)
3	無し	内蔵	9.6V/1200mAhニッカド	既設のDSUを利用	AC100V使用 (停電時動作20時間)
4	内蔵	無し	無し	本装置のDSUユニットを使用	電源は火災通報装置より供給
5	内蔵	内蔵	9.6V/600mAhニッカド	本装置のDSUユニットを使用	AC100V使用 (停電時動作6時間)
6	内蔵	内蔵	9.6V/1200mAhニッカド	本装置のDSUユニットを使用	AC100V使用 (停電時動作20時間)

4 仕様

4-1 仕様一覧

項目	内容	
適用回線	総合デジタル通信回線 (INS ネット 64)	
収容回線数	1 回線	
交換形態	回線交換 (P-MP)	
接続ポイント	DSU ユニット無しの時 : S/T 点 DSU ユニット内蔵時 : U 点	
回線接続方式	DSU ユニット無しの時 : 8 ピンモジュラジャック DSU ユニット内蔵時 : 6 ピンモジュラジャック	
アナログポート	ポート数	2ch
	受信可能ダイヤル	PBのみ
	回線電圧	DC48V (42~50V) (回線開放時)
	回線信号	DT、BT、RBT
	呼出信号	75V/16Hz (負荷未接続時)
	極性反転機能	有り (119以外)
	回線捕捉時の電流供給	約 30mA 定電流供給
	回線接続方式	6 ピンモジュラージャック
S/T 点出力	ポート数	1ch
	回線接続方式	8 ピンモジュラージャック
制御信号	監視信号種別	BELL, LAMP (火災通報装置より受信)
	信号形態	接点 (GND コモン)
	接続方式	6 ピンモジュラージャック
表示	電源 (緑)、特番通報 (赤)、電話 1 (赤)、電話 2 (赤)、異常 (赤)	
スイッチ類	終端抵抗 : ON/OFF U 点極性 : 通常/反転 (DSU ユニット内蔵時のみ有効)	
使用電源	電源ユニット内蔵時 : AC100V ± 10V (50/60Hz) 電源ユニット無し時 : DC12~28V (火災通報装置より給電)	
停電保証	電源ユニット内蔵時 : 6 時間、または 20 時間 (ニッカド電池) 電源ユニット無し時 : 火災通報装置側仕様による	
登録データ保持機能	EEPROM にて保持	
自己診断機能	メモリ監視、停電監視 (電源ユニット内蔵時)、回線断線監視	
消費電力	8W 以下 (低消費電力モード時 : 3W 以下)	
使用環境	使用周囲温度 : 0~40℃ 使用周囲湿度 : 20~90% (結露なきこと)	
取付方法	据置、または壁掛け	
寸法	148mm (W) × 61mm (D) × 210mm (H)	
重量	約 1Kg (DSU ユニット、電源ユニット、電池 (20h) を含む)	

5-1 通報動作

本装置は、アナログポート1に接続された火災通報装置の起動により以下の動作を行います。

(1) 発呼

火災通報装置より119番のダイヤルを受け付けると同時に起動信号（バル・ランプ信号）を検出すると、火災通報装置の起動と判断し、119番シーケンスをスタートします。

(2) 回線の確保

119番発呼と同時に、119番シーケンスを確実にするため（火災通報装置の通信回線を確保するため）に、S/T点に接続された端末機器の回線使用状態に関係なく、S/T点出力側を物理的に切断します。

(3) 呼び出し

119番呼び出し中は、火災通報装置に対し呼び出し音を送出します。119番応答と同時に呼び出し音を停止し、ISDN回線と火災通報装置とを接続します。

(4) 話中

119番が話中の場合は、火災通報装置に対し話中音を送出します。

(5) 逆信応答

火災通報装置動作中に119番からの逆信を検出すると、ダイヤルイン契約の有無、着アドレス情報に関係なく、火災通報装置にのみ呼び出し音を送出します。

以降、火災通報装置に接続された火災通報専用電話機で応答することにより、119番との相互通話となります。

(6) 火災通報時の逆信未検出時の動作

火災通報装置起動中は、逆信未検出の場合に、火災通報装置が回線を再捕捉する毎に、119番に対して自動ダイヤルを行います。

5-2 優先発信機能

本装置は、他の通信機器が使用中でBchに空きがない状態で火災通報装置が起動した場合、デジタル端末、アナログ端末いずれの場合も強制的に通信を終了させ、火災通報装置を最優先にさせます。

(1) Bchが2チャンネル共使用中時の強制切断

- ・S/T点に接続された2台の端末機器が使用中の時。

S/T点を物理的に切断した後、火災通報装置の発信に合わせて発呼動作を行います（物理的な切断後は約90秒間、回線が使用できない状態になりますので、この間は火災通報装置からの発信に対し話中音を送ります。）。

- ・火災通報装置及びアナログポート2に接続された端末機器2台が使用中の場合。

火災通報装置に接続された端末機器は、火災通報装置によって強制切断されます。アナログポート2側の端末機器の切断は行いません。

- ・火災通報装置に接続された端末機器とS/T点に接続された端末機器が使用中の場合。

火災通報装置に接続された端末機器が火災通報装置によって強制切断されます。

また、S/T点側端末機器も発呼と同時に強制切断されます。

- ・アナログポート2に接続された端末機器とS/T点に接続された端末機器が使用中の場合。

アナログポート2に接続された電話機を強制切断後直ちに119通報動作を行います。

また、S/T点側端末機器も発呼と同時に強制切断を行います。

(2) Bchが1チャンネルだけ使用中時の強制切断。

- ・S/T点に接続された端末機器が使用中の時。
回線確保のため、発呼と同時に強制切断を行います。
- ・火災通報装置に接続された端末が使用中の時。
火災通報装置により強制切断されます。
- ・アナログポート2に接続された端末機器が使用中の時。
強制切断は行いません。

5-3 アナログポート極性反転

本装置は、119番以外への発信に対しては、相手応答によりアナログポートの極性反転を行います。

5-4 省電力モード

本装置は、設定により「アナログポート2非使用」(省電力モード)での使用が可能です。

省電力モードでは、アナログポート2の使用はできませんが、外部供給DC12V/300mAを有する火災通報装置より電源供給を受けることができます。

5-5 内線相互通話

本装置は、アナログポート1,アナログポート2間での内線通話ができます。

操作方法は、アナログポート1,2に接続された電話機どちらからの発信でも同じで、受話器をあげ「*0#」をダイヤルすれば互いに相手呼び出します。

呼び出された方は受話器をあげれば、内線相互通話ができます。

5-6 受話音量調整

本装置は、アナログポート毎に受話音量を2段階で切り替えることができます。初期値では、音量は小になっています。

5-7 PBダイヤル桁間タイマ

本装置は、電話機からの発信時、タイマ値を経過しても次のPBダイヤルが電話機より送出されない場合、ダイヤル完了と見なして発呼動作に移行します。

タイマ値は3~20秒で、初期値は5秒に設定されています。なお、ダイヤル入力が終わる発呼動作に早く移行させたい場合は、ダイヤルの最後に を付けてください。

5-8 ISDN回線サービスを利用した通話機能

本装置は、ISDN回線サービスの内、アナログポート1,2共に以下の機能をサポートしています。

(1) 優先着信ポートの設定

本装置は、回線番号の通知がない着信の場合、どのアナログポートに優先的に着信させるかの設定ができます。

- ・優先設定をアナログポート1にすると
着信があると、アナログポート1にのみ着信信号が送出されます。
アナログポート1が話し中の場合は、アナログポート2に着信信号が送出されます。
- ・優先設定をアナログポート2にすると
着信があると、アナログポート2にのみ着信信号が送出されます。
アナログポート2が話し中の場合は、アナログポート1に着信信号が送出されます。

- ・優先着信無しにすると

着信があると、アナログポート1及び2に着信信号が送出されます。

なお初期値は、アナログポート2に設定されています。

(2) ダイヤルインサービスと自己アドレス

NTTのダイヤルインサービス（有料）をご契約になると、契約者回線番号に加えて複数の追加番号を持つことができます。この番号をダイヤルイン番号といい、アナログポート毎にダイヤルイン番号を付加することで、外から指定してこのアナログポートに電話をかけることができます。ダイヤルイン番号は、自己アドレスとして設定します。ダイヤルインサービスは相手の方がアナログ回線網でも利用できます。

(3) 自己サブアドレス

自己サブアドレスを設定すると、外から電話をかけたときに、電話番号に続いてサブアドレスをダイヤルすれば、そのアナログポートだけに着信させることができます。

サブアドレスは、呼び出す側もINSネット64に加入している場合のみ利用できます。

(4) グローバル着信

ダイヤルインサービスのご契約の際に、グローバル着信の利用を申請されると、契約回線番号への着信の場合はすべてのポートへの着信、追加番号への呼び出しの場合は特定のポートだけに着信させることができます。

(5) 発信者番号通知

発信するときに、発信者番号（自己アドレスと自己サブアドレス）を相手の方に通知するかどうかを契約により選ぶことができます。通知した番号は、相手の方の電話などにそれを表示、または識別する機能がある場合に利用されます。

なお、でんわばん、コールウェイティング、通信中転送、着信転送、三者通話、ナンバーディスプレイ表示機能については、サポートしていませんのでご注意ください。

5-9 断線監視機能

本装置は、ISDN回線の断線を常時監視しています。回線の断線が発生すると本体の「異常」ランプを点滅させると共に、アナログポート1への通話電流の供給を停止します。

5-10 表示ランプ

本装置は、本体に5つのランプを持っています。

No	名称	色	機能
1	電源	緑	電源受電中、バッテリー動作中 : 点灯 電源停止中 : 消灯
2	特番通報	赤	通報装置による特番通報中 : 点滅 待機中、一般の通信中 : 消灯
3	電話1	赤	アナログポート1への着信中 : 点滅 アナログポート1使用中 : 点灯 設定モード中 : 電話2と同時に点滅 待機中 : 消灯
4	電話2	赤	アナログポート2への着信中 : 点滅 アナログポート2使用中 : 点灯 設定モード中 : 電話1と同時に点滅 待機中 : 消灯
5	異常	赤	ISDN回線断線中 : 点滅 装置内部異常時 : 点灯 平常時 : 消灯